

## ごおりの せかい

「うーん。まっくらだあ。

ここは どこだろう？ ぼくは だれ？」

「ここは くらいけど、あったかいなあ。」

「いつまで ここに いるんだろう？」

「…だれかが、ぼくを よんでいる？」

「いつまで ここに いるのかな？」

ぴしっ ぴしっ からからっ…！

「わあっ！まぶしい！」

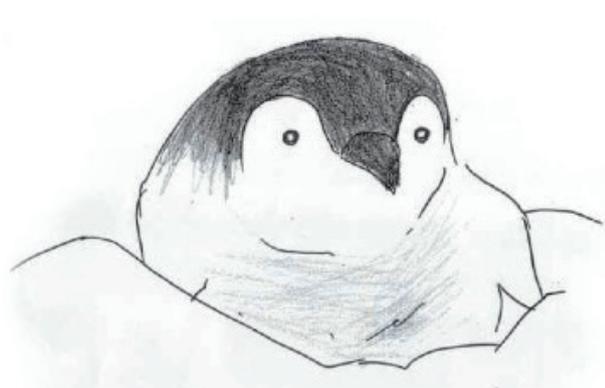
はじめてみた たいようの ひかりのなかで

ぼくの めのまえにいたのは…

おとうさんだ！ はじめてでも すぐにわかったよ。

だいすきなおとうさん。けが ふかふかして

りっぱな はねがあって、



かつこいいなあ。

「だいじなぼうや。がんばったね。おとうさんと おかあさんは  
ずっと ぼうやが うまれるのを まっていたんだよ。」

「おかあさん？ おかあさんは どこにいるの？」

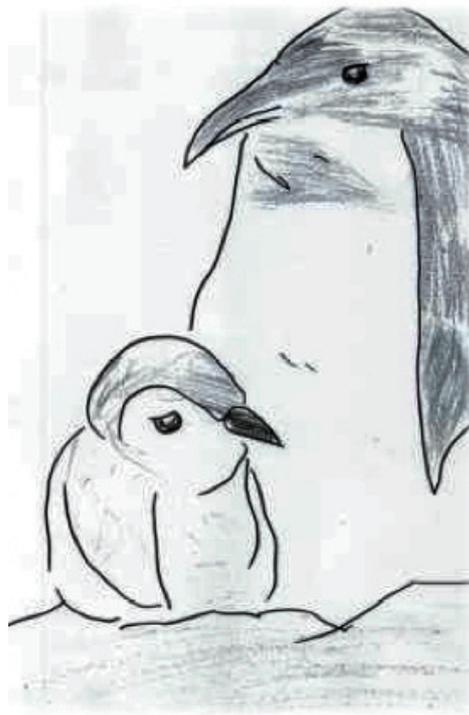
「おかあさんは、ぼうやが はいっていた

たまごをうんで、すぐに、うみへ、

ぼうやのたべものを とりにいっただよ。」

「おかあさんは、いつかえってくるの？」

はやく おかあさんに あいたいなあ。」



それから、どれくらい まっただろう。50かいねても、60かいねても、

おかあさんは かえってこなかった。おとうさんは ぼくに おちちを くれるけど、  
いつも ぼくをだいたまま。ずっとなにも たべていないよ。このままじゃ…。

そのとき、おとうさんが きゆうに なきだした。それにこたえて、  
やさしいなきごえが きこえてきたよ。

ぼくは すぐに わかった。おかあさんだ！

「ああ、わたしのぼうや！」

おかあさんは、とおくの うみから とってきた、

おいしいさかなを ぼくにくれた。

そして、おとうさんから

そつと ぼくを うけとり、

だいてくれたんだ。

すると、おとうさんは、

ふらふらに なりながら、あるきだした。

「おとうさん、どこにいくの？」

「あたらしい たべものを とりに行くんだよ。」

おかあさんは しんぱいそうに おとうさんを みている。



そのとき、ぼくは ぜんぶわかったんだ。おかあさんも、おとうさんも、ぼくのことを、いのちをかけて まもって くれていたって。

「ぼうや、おかあさんといっしょに まっぴいなさい。」

そういつて あるいていく おとうさん。いまにも たおれそうだけど。

しんぱいでたまらないけど。

ぼくは、ずっと、ずっと、おとうさんを みおくっていた。

ぼくのけは はえかわり、おとうさんや おかあさんと おなじような

ペンギンになった。もうひとりで そとを あるけるよ。これから、こどもたちの

あつまりに いくんだ。なにをして あそぼうかなあ。ふふふ…。

まっしろな こおりの せかい。ずっと そらたかくには

たいようが ひかっている。

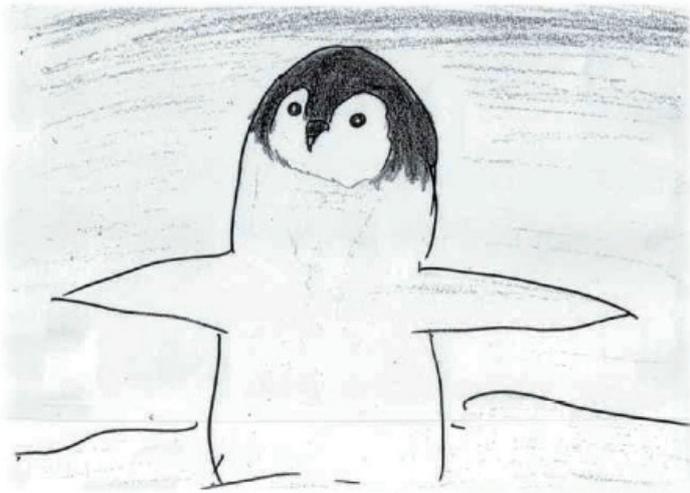
「ぼうや！ きを つけて いくのよ！」

「はーい！ 行ってきます！」

おかあさん！ おとうさん！」

ぼくは、ともだちの ところへ、かけだした。

(野村 宏行 作)



# こおりのせかい

(低学年 3-(1))

## (1) ねらい

生きる幸せや喜びを感じ、自他の生命を大切にしようとする心情をはぐくむ。

## (2) 資料の特質

コウテイペンギンの誕生を題材にした、自作資料である。コウテイペンギンは、世界一過酷な子育てをする動物と言われている。両親は何カ月も飲まず食わずの状態ですごす極寒の地で卵を守り続ける。そんなコウテイペンギンの誕生、子育てを児童にわかりやすく、興味をもてるように資料化した。

## (3) 展開例

- 1 自分が生まれたときのことを知っているか、話し合う。
- 2 資料「こおりのせかい」を読んで話し合う。
  - ①卵の中で、「ぼく」はどんな気持ちか。
    - ・外はどうなっているのかな。
  - ②お父さんは、どんな気持ちで「ぼく」を守っていたのか。
    - ・絶対に守るんだ。
  - ③えさを取りに行くお父さんを、「ぼく」はどんな気持ちで見送っていたのか。
    - ・無事に帰ってきてね。
  - ④「いってきます！おかあさん！おとうさん！」と、「ぼく」はどんな気持ちを込めていったのか。
    - ・産んでくれて、ありがとう。
    - ・お父さんもお母さんも元気でいてね。
- 3 自分が生きていることについて、考える。
- 4 学校で生き生きと過ごす様子をスライドショーで視聴する。

## (4) 指導上の留意点及び工夫

赤ちゃんペンギンを人と同様にとらえ、共感しながら生命のすばらしさについて考えていけるようにする。コウテイペンギンの両親と、子どものペンギンの姿を、それぞれ自分の親、自分に照らし合わせて、生きる喜び、幸せを感じていけるようにする。

〔本文イラストは野村宏行による〕